

# 共に生きる女と男のセミナー

平成24年10月20日  
藤久保公民館

## 講談の名調子に乗った男女共同参画 ワーク・ライフ・バランス

～女性が変わる 男性も変わる 社会が変わる～

講師に、宝井琴桜さんが登場、講談で語るワーク・ライフ・バランスを熱演、このおもしろい演題をわかりやすく日常生活に近づけ笑わせながら会場を魅了していきました。

性別だけで、役割を決めつけないこと…家事は女性、介護は女性というふうには。

“ばっかり”というのはよくない。家事ばかりする。仕事ばかりするというのは過去の話。人生90歳まで生きる今の時代、バランスを取って、仕事も家事もする。仕事は男性だけがするものではない。家事は夫がするものでもなく、妻がするものでもない、子どもがするものでもない。家事はみんながするもの。と…

釈台をぼんぼんと叩きながらユーモアを交えて繰り出す歯切れの良い明快な声に、会場内を引き込むのでした。男だけの講談の世界に初めて真打として登場した、実力派、琴桜師匠の面目躍如、その名調子に、会場は誰一人として退場する方もなく、学びながら講談の名調子を堪能したのでした。そして明日からの生活に多くの示唆を得ました。ご来場の皆様沢山のアンケート有難うございました。(高橋)



たからい きんあう  
宝井 琴桜さん

琴桜さんの  
流暢な話芸と歯切れのよい  
講談のなかに、  
男女共同参画を解かり易く、  
楽しく聞くことができた…と、  
来場者の笑顔が  
たくさんありました。

☆男女共同参画、ワークライフバランスについて、とても解かり易くそして楽しく講談して頂き、とても良いセミナーだった。講談は、初めて聞いたが今後又機会があれば、女流講師である宝井さんの講談を聞いてみたいと思いました。  
(40代男性)

☆男女共同参画は、たまに新聞に出ていますが深く考えた事がないが、初めて参加し宝井琴桜さんのお話を解かり易く、楽しく聞けた。心を大きく、肩の力をぬいて気持ちを持つ、今日は本当に良いお話でした。ありがとうございました。  
(70代女性)

セミナーアンケートより…

# ヒューマンフェスタ 2013

平成25年1月26日  
文化会館コピスみよし

さらなる一步を踏み出そう！ 思わず、かわいいと声もれてしまった！

★★ 講演&ピアノ弾き語り ★★



たてき さえ  
立木 早絵さん

24時間テレビでの様々な過酷なチャレンジをした立木早絵さんですが、小柄で可憐な少女でした。彼女は、「誰にも苦手なことがあるように、私は見るのが苦手な普通の20歳の女の子です」と語り、ご両親は早絵さんをお兄さんと同じように育てられ、自転車の練習などもやらせてもらえたと言います。

また、彼女は、目に見えない心のバリアフリーが大切だと訴えていました。まわりを思いやる、自然体で助け合う人が増えますようにと。

今後の目標は、音楽活動をする事と語り、オリジナル曲の「自分を愛して」「夢に向かって」「感謝」などの曲を弾き語りで披露してくれました。

本も出版し、さらなる一步を踏み出した立木早絵さんの素敵なお話と歌声が心に響きました。  
(鈴木)

# ★ 一人ひとりが輝いて温かい「まなざし」を持てる三芳町に ★

## 町長へのインタビュー



…就任2年目を迎えられた町長に、男女共同参画の視点からみた取り組みについて伺いました…

### 女性の登用は…

町には、様々な審議会・委員会などありますが、女性の参加・参画について、意識をもって女性の登用を進めていますか。

- ◆ 現在、23審議会の内18審議会、6委員会の内1委員会で女性委員がおり、全体の割合としては約24%と年々増加はしているが女性委員がない審議会等もあるため、多様性に富んだ人材確保が必要とされています。
- ◆ 平成23年度発足した、政策研究所(みよし塾)については、3グループ構成で一般公募により町民の方及び女性職員もメンバーになり研究を重ねています。
- ◆ 職員の女性比率については、約35%になるが、直近3年間の新入職員については女性が約60%と高くなっています。管理職においても、今年度一般行政職に女性課長を配属し期待をしています。

### 災害時避難支援は…

高齢者の一人暮らしが増加している中で、災害時の地域の支え合いに備えて、町ではどのような取り組みを行っていますか。

- ◆ 「三芳町災害時要援護者避難支援プラン」を作成し、現在「災害時要援護者名簿登録」の申請受付をしています。従来、民生委員が行っていた「見守り台帳」は、このプランに統一化されます。この制度は、希望した方の情報を支援機関となる地域の方たちが共有するものです。対象となる方は、高齢者・障がい者等自力で避難することが困難な在宅の方です。
- ◆ 緊急事態を想定し、町独自の防災対策を立て町民が安全な方法で避難できるような避難所訓練計画等を考えています。また、災害時には近隣の方の協力が一番重要だが、町内の事業所・病院等の協力も必要になると考えており、今後の課題です。

(注) 藤久保小学校エリア避難訓練を24.10.27に実施しました。

### 子育て支援は…

保育所待機児童が多く、早急な対応が必要だと思います。現在の状況はどのようになっていますか。

- ◆ 23年度入所時の待機児童は、民間保育所が開設されたことにより待機児童は減少したが、24年度は第1保育所の老朽化に伴い新規募集を行わず、待機児童が急増した事が原因のひとつです。25年度4月にあらたに民間保育所が開設されますが、今後も引き続き待機児童の解消に努めていきたい。
- ◆ 家庭保育室保育料の助成の拡大・子育て支援センター一時保育の時間延長・民間保育所一時保育の拡大等を行っている。結果として家庭保育室・子育て支援センターの利用増に表れています。
- ◆ 24・25年度にかけて、家庭保育室・民間保育所の開設予定に伴い、待機児童の解消・子育て支援等に大きく貢献できると考えられます。

### \* お話を聞いて…

もっともっと子育てをしたい町に、そしてみんなが住みよいといえる町をめざしていると感じました。また、いろいろな場面で女性の意見を取り入れてもらえるように、そして私たちも意見を言うように普段から心がけていくことが大切なことと思いました。その後、町長と一緒に、役場1階エントランスホールで行われているパネル展を見学しました。

